

1 学習指導及び学習評価の改善・充実

(1) 商業科における個別最適な学び、協働的な学び

「個別最適な学び」とは、教師が支援の必要な生徒に対して、重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」と、教師が生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身が学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」を学習者視点から整理した概念で、教師視点から整理した概念が「個に応じた指導」である。

「協働的な学び」とは、探究的な学習や体験活動などを通じ、生徒同士で、あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する学びのことである。

商業科においては、これらを踏まえ、実践的・体験的な学習活動の中で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する必要がある。

また、障がいのある生徒などへの指導に当たっては、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することとされており、例えば、商業科における配慮として、次のようなものが考えられる。

- ① 実習において、その手順や方法を理解することが困難である場合は、見通しが持てるよう、手順や方法を具体的に明示するなどの配慮をする。
- ② グループで活動することが難しい場合には、他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担するとともに、役割を果たすことができたかを振り返ることができるようにするなどの配慮をする。

(2) 商業科における共通性の確保を目指した学び

令和4年に成年年齢が引き下げられ、生徒が高等学校在学中に成年に達して「大人」となり、自身の意思決定で様々なことが可能となる権利と責任を有するようになった。これに伴い、高等学校の役割としては、生徒が自己決定を行い、自分の人生をより良いものへと切り拓いていくことができる自立した市民となり、より良い社会の実現に主体的に参画しようとする資質・能力を身につけることが一層強く求められている。

こうした動きは、生徒が学校で学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら育むことを目指すキャリア教育とも、その方向性は同じであり、生徒のキャリア発達を促すことが高等学校教育において一層求められる状況にある。

また、デジタル技術が目まぐるしく発展し、将来の予測が難しい社会において、生徒には、社会における膨大な情報やあらゆる学問分野の中から好奇心をもって自分らしい問いを見いだし、その問いを探究する中で新しい価値を生み出していくことが重要とな

る。そのような状況に鑑みれば、それぞれの高等学校において、多様な生徒の状況・地域の実情等を踏まえて、いずれの高等学校の、いずれの課程・学科にあっても、以下の内容について共通して取り組むことが重要となる。

- ・自己を理解し、自己決定・自己調整ができる力の育成
- ・自ら問いを立て、多様な他者と協働しつつ、その問いに対する自分なりの答えを導き出し、行動することのできる力の育成
- ・自己の在り方生き方を考え、当事者として社会に主体的に参画する力の育成

学習指導要領では、商業科の目標を「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」としている。商業科においては、この目標を実現することが大切であり、「企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けることを意味している。」とする商業の見方・考え方を踏まえ、以下のような場面で、共通性を確保することが考えられる。

- 見通しをもって実験・実習などを行う中で様々な成功と失敗を体験し、その振り返りを通して自己の学びや変容を自覚し、キャリア形成を見据えて学ぶ意欲を高める
- 産業界関係者などとの対話、生徒同士の討論といった自らの考えを広げ深める
- 様々な知識、技術などを活用してビジネスに関する具体的な課題の解決策を考案する

(3) 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための学習評価

商業科の学びにおいては、主体的・対話的で深い学びを実現するため、「個別最適な学び」と「協働的な学びの」一体的な充実が必要である。また、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る上で、学びに向かう人間性等の育成は重要であり、そのためには「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実が求められる。「主体的に学習に取り組む態度」の具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、生徒による自己評価や相互評価等の結果などが考えられる。また、生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること、評価の結果によって後の指導を改善し、新しい指導の成果を再度評価するという指導と評価の一体化を図る中で、生徒一人一人のつまずきや伸びについて、指導過程で評価する形成的な評価を行うことが大切となる。

商業科の学びにおいては、「ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を目指して主体的に学ぶ態度」や、「企業を社会的存在として捉えて法規などに基づいてビジネスの創造と発展に責任をもって取り組む態度」等を養うようにすることに留意することが必要となる。商業科の見方・考え方を働かせた商業教育におけるこれらの評価の充実により、生徒の学びを深め、実社会で必要とされる力を育てることが重要となる。

2 指導と評価の計画例

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向け、学習指導及び「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価を科目「ネットワーク活用」で説明する。

(1) 科目「ネットワーク活用」指導項目「(1)情報技術の進歩とビジネス」の計画例

ア 単元の目標

- (ア) 情報技術の進歩とビジネスとの関係、及び情報技術をビジネスに活用することについて理解する。
- (イ) 情報技術を活用することの意義と課題について、ビジネスの展開と関連付けて見いだす。
- (ウ) 情報技術の進歩とビジネスとの関係、及び情報技術をビジネスに活用することについて自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組む。

イ 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報技術の進歩とビジネスとの関係及び情報技術をビジネスに活用することについて理解している。	情報技術を活用することの意義と課題について、ビジネスの展開と関連付けて見いだしている。	情報技術の進歩とビジネスとの関係及び情報技術をビジネスに活用することについて自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

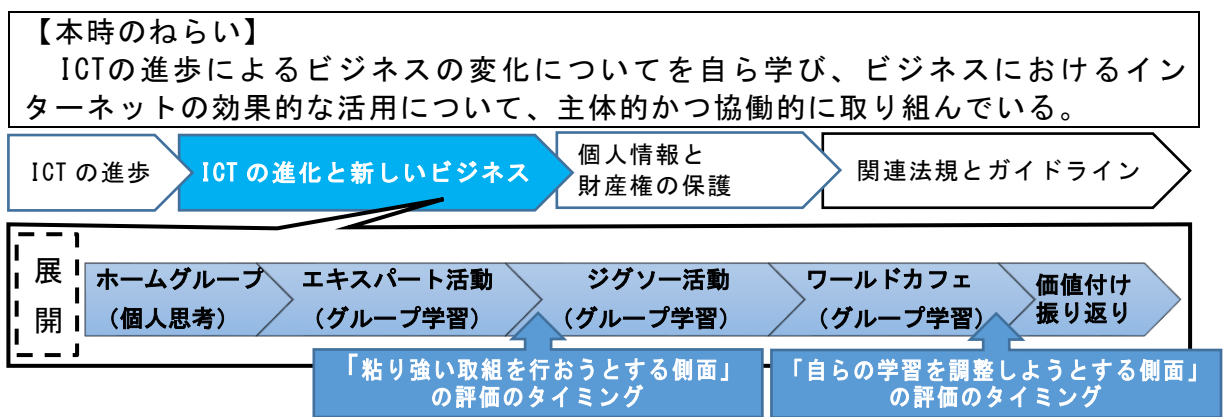
ウ 単元の指導と評価の計画（6時間） ○：指導に生かす評価 ●記録に残す評価

時間 (次)	ねらい、学習活動等	評価の観点		
		知	思	態
(第1次) 1時間目	ア ビジネスの変化 ・ ICTの進歩	●		
2時間目	・ ICTの進化と新しいビジネス ICTの進歩によってもたらされたビジネスの変化について、自ら学び、インターネットを新たに効果的に活用するビジネスの方法について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 問い 新しいICTの利用技術の発展の背景から、自ら課題を設定して、他者と協働し具体的な活用事例を考察することを通して、主体的に取り組むことができるか。 ① 4人1組でホームグループを編成する。「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」及び「フィンテック」の4テーマを示し、グループ内で1つのテーマにつき1名の役割分担を行い、個人で思いつく説明を書き留める。【作業時間2分】 ② 各ホームグループで役割分担されたテーマごとにエキスパートグループを編成し、その資料に書かれた内容や意味を話し合い、グループでテーマに対する理解を深める。【活動時間10分】 ③ それぞれが調べたテーマについて、ホームグループに戻りグループ内で説明し共有し、「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」及び「フィンテック」を組み合わせたビジネスで活用した事例についてグループで考察し、新たなビジネスについて話し合う。 【共有時間5分＋考察時間8分】 ④ ワールドカフェによりグループで「IoT」を調べた者をグループで考えた新たなビジネスの説明者として残し、その他3名は別の班へ移動して移動先の新たなビジネスについて説明を受ける。 【1ラウンド：説明2分＋質疑応答1分＋移動1分】 ※全部で3ラウンドを実施する。 ⑤ ホームグループに戻り他グループから得られた情報を共有する。 【活動時間6分】 ⑥ 得られた情報から新たなビジネスへの気づきを個人で書き留める。 【活動時間3分】 ⑦ 教師による価値付け、振り返り（まとめ）【活動時間4分】			
探究の過程 ホームグループ 個人思考 エキスパート活動 個別最適な学び 協働的な学び ジグソー活動 粘り強い取組 問いに対する予測 個の学びの深化 協働的な学び ワールドカフェ 自らの学びの調整 他者の意見の受容 新たな気づき 問いに対する回答 振り返り 新たな問い		グループで活動することが難しい場合には、他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担するとともに、役割を果たすことができたかを振り返る。 手順や方法を理解することが困難である場合は、見通しがもてるよう、手順や方法を体系的に明示する。 Google ドキュメントによりワークシートを配付し、提案機能及び共有機能を用いて共同編集することで、グループ内で効率的で効果的な情報の共有を図る。 本時で用いた新たなビジネスへの気づきを3時間目の電子商取引での課題設定に活用する。		

3 時間目	・電子商取引	○		
(第2次) 4 時間目	イ 個人情報と知的財産の保護 ・個人情報の保護 ・個人情報と知的財産の保護 ウ 関係法規とガイドライン	○	●	
5 時間目	・情報セキュリティに関する法規 ・電子商取引に関する法律	○		
(第3次) 6 時間目	まとめ 単元末テスト 授業振り返りシート	●	●	○

エ 学習指導案（2 時間目／6 時間中）

本時のねらいを踏まえ、ICTの進歩によるビジネスの変化について考察するには、前時までに学んだICTの進歩の内容を理解し、ICTの新しい利用技術の具体について、自ら学び、他者との協働を通じて考察する必要がある。次は、学習指導の一部の流れを図式化している。



オ 学習の進め方や学習評価の工夫

(ア) 評価問題等

本事例では、「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」及び「フィンテック」の4テーマについて Google ドキュメントで作成したワークシートを提供し、個人の調べ学習とグループ学習を通じて、ICTの進歩を新たなビジネスへ活用する方法を考察する。

【ワークシート】

a 個人学習（ホームグループ活動）

【今日の目標】
ICTの進歩によってもたらされたビジネスの変化について、自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について、主体的かつ協働的に取り組めること

個人思考
1. 「フィンテック」で思いつくことを自分の言葉で書いてみる。【2分】
6. ワールドカフェで得られた情報から、自分が考える新たなビジネスを書いてみる。【3分】

学習の最初に本時の学習内容のイメージをもたせる。説明が思い浮かばないときは、言葉からイメージされるものを自由に表現させる。

【評価項目：粘り強い取組を行おうとする側面】
学習の最後にまとめとして、本時の学習の過程を通して得られた知識から、自らの考えを表現させる。

b グループ学習（エキスパート活動）

【今日の目標】
ICTの進歩によってもたらされたビジネスの変化について、自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について、主体的かつ協働的に取り組めること

2. エキスパート活動（活動時間：5分）
フィンテックについて書かれた資料を読み、内容や意味を、グループメンバーとの話し合いからまとめる。

- クレジットカード決済・コンタクトレス決済・QRコード決済などのキャッシュレス決済は、情報技術を活用し、現金のやり取りなしで決済ができる。
- 特定の国家が価値を補償していない通貨のこと。一部の商品やサービスの決済に利用できるデジタル通貨です。フィンテックで用いられる技術である「ブロックチェーン」を利用して、改ざん不可能な取引データを残すことで価値を補償する。

Google ドキュメントの共有から提案機能を活用し、資料の内容について、疑問や意見を入力しながらエキスパート活動を行い、説明資料に対する知識を深める。

c グループ学習（ジグソー活動）

【今日の目標】
ICTの進歩によってもたらされたビジネスの変化について、自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について、主体的かつ協働的に取り組めること

3. エキスパート活動の共有（グループ活動時間 5分）
エキスパート活動で得られた知識をそれぞれ入力しながら説明し、情報を共有する。

IoT

ビッグデータ

AI

フィンテック

4. 新しいビジネスの考察（グループ活動時間：8分）
全員の情報をもとに「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」及び「フィンテック」を組み合わせた新たなビジネスについて考える。

Google ドキュメントの共同編集機能を活用し、エキスパート活動で得られた知識を各自入力し、グループ内での知識の共有を図る。

【評価項目：自ら学習を調整しようとする側面】
ICTの進歩の具体のまとめから、自身の身近な違和感、必要感、矛盾の解決に基づいて考えさせる。

d グループ学習（ワールドカフェ）

【今日の目標】
ICTの進歩によってもたらされたビジネスの変化について、自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの効果的な活用について、主体的かつ協働的に取り組めること

自分の班： 班

5. ワールドカフェ【説明2分+質問1分+移動1分】
「IoT」を調べた人以外は他班に移動し、その班が考えた新しいビジネスについて説明を受け、その内容を入力します。
※移動は3回行うので、班員全員がすべての班を回れるように手分けしてください。

1班
2班
3班
4班
5班
6班
7班
8班
9班
10班

Google ドキュメントの共同編集機能を活用し、ワールドカフェで得られた情報を各自入力し、グループ内での情報の共有を図る。

(イ) 「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価の工夫

a 評価のタイミング

教員は、「主体的に学習に取り組む態度」について、ジグソー活動において、生徒の「自らの学習を調整しようとする側面」の到達レベルを評価し、ワールドカフェにおいて、生徒の「粘り強い取組を行おうとする側面」の到達レベルを評価する。

b 評価方法

「自らの学習を調整しようとする側面」の評価

評価	到達レベル 2	到達レベル 3	到達レベル 1
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
自ら学習を調整する側面	グループで学習した内容を踏まえて、ICTの進歩による新しいビジネスについて考察し、自身の身近な違和感、必要感、矛盾から自分の意見をおおむね調整しようとしている。	グループで学習した内容を踏まえて、ICTの進歩による新しいビジネスについて考察し、自身の身近な違和感、必要感、矛盾から自分の意見を十分に調整しようとしている。	情報の適切な表現と活用について、自身の身近な違和感、必要感、矛盾から自分の意見を調整することができない。 【手立て】良い例を積極的に取り上げるとともに、生徒にはワールドカフェの他者の記述から新たなビジネスの具体について個別に指導する。

<ジグソー活動ワークシート 項目4の記載内容>

○ おおむね満足できる（到達レベル2）の記述例

到達レベルの考え方

・ **自撮りしたときに消したいものが映り込んだとき、AIを活用して、自撮りの画像を簡単に修正・加工できるアプリ**

グループで学習した内容を踏まえて、ICTの進歩によるAIを用いた新しいビジネスについて考察し、自身の身近な違和感、必要感、矛盾から自分の意見をおおむね調整しようとしているため、**到達レベル2**とした。

○ 十分満足できる（到達レベル3）の記述例

- ・ **自撮りしたときに消したいものが映り込んだとき、AI** を活用して、自撮りの画像を簡単に修正・加工できるアプリ
- ・ **自分で撮ったいろんな画像をクラウドに保存して、ほかの人がその画像を利用すると電子決済でお金がもらえる仕組み**

グループで学習した内容を踏まえて、ICTの進歩による**AI**を用いた新しいビジネスについて考察し、自身の身近な違和感、**必要感**、矛盾から自分の意見を**他のテーマと結び付けて十分に調整**しようとしているため、**到達レベル3**とした。

「粘り強い取組を行おうとする側面」の評価

評価	到達レベル2	到達レベル3	到達レベル1
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
粘り強い取組を行おうとする側面	ICTの進歩によってもたらされるビジネスの変化に気付き、よりよく改善するために粘り強く取り組もうとしている。	ICTの進歩によってもたらされるビジネスの変化に気付き、よりよく改善するために粘り強く取り組もうとしているとともに、ビジネスの変化の課題を具体的に想定し、解決方法について提示しようとしている。	ICTの進歩によってもたらされるビジネスの変化の把握が不十分であり、改善するために粘り強く取り組む態度が見られない。 【手立て】改善に取り組むための着眼点を助言する。

<個人学習ワークシート 項目6の記載内容>

○ おおむね満足できる（到達レベル2）の記述例

到達レベルの考え方

AI とビッグデータを組み合わせて、自撮り画像と行ったことのない観光地の画像を合成して、**旅行のプランのイメージを提供するアプリ**

学習活動で得られた**知識を組み合わせ**て、自身の必要感から、新たなビジネスについての**気付きの表現**に取り組んでいるため**到達レベル2**とした。

○ 十分満足できる（到達レベル3）の記述例

旅行代理店で旅行プランの相談の際に、具体的なイメージを顧客に提示するために、AI とビッグデータを組み合わせて、自撮り画像と観光地の画像を合成して、**旅行プランのイメージを提供するアプリ**

具体的なビジネスの課題を想定し、解決のための具体として捉え、学習活動で得られた**知識を組み合わせ**て、新たなビジネスについての**気付きの表現**に取り組んでいるため、**到達レベル3**とした。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「自らの学習を調整しようとする側面」と「粘り強い取組を行おうとする側面」双方の側面の評価から見取りを行う。評価の見取りの方法については「令和4年度高等学校教育課程編成・実施の手引 商業」6ページを参照すること。

c 評価結果のフィードバック

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、知識・技術を修得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。

ICTの進歩による新たなビジネスについて、生徒自身が自己の学習を調整する中から知識・技術を修得し、自らの気付きを表現することにより、学習評価の工夫をすることができる。評価Cの生徒については、エキスパート活動及びジグソー活動における理解が正しく行われているかを確認するなどの指導の改善が求められる。また、自身の身近な違和感、必要感、矛盾の解決について個別に問うなどの指導上の工夫が求められる。

(2) 科目「ネットワーク活用」指導項目「(4) インターネットの活用」の計画例

ここで紹介する実習は、北海道立教育研究所の生徒実習システム「電子商取引実習」による EC サイト構築ソフトウェア「EC-CUBE」を活用した事例である。「電子商取引実習」を利用することで自校の生徒が作成した EC サイトを全道立学校の生徒と模擬取引をすることが可能になる。

ア 単元の目標

- (ア) インターネットの活用について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付ける。
- (イ) 企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいてインターネットを活用する方策を考案して実施し、評価・改善する。
- (ウ) インターネットの活用について自ら学び、インターネットの活用による企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組む。

イ 単元の評価規準

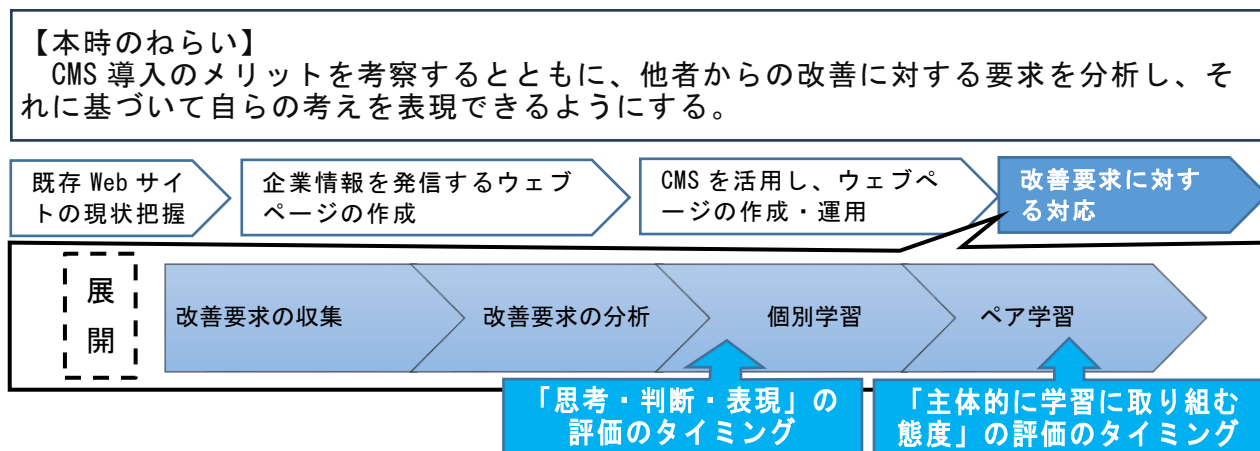
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
インターネットの活用について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいてインターネットを活用する方策を考案して実施し、評価・改善している。	インターネットの活用について自ら学び、インターネットの活用による企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

ウ 単元の指導と評価の計画（20 時間） ○：指導に生かす評価 ●：記録に残す評価

時間 (次)	ねらい、学習活動等	知	思	態
(第1次) 1 時間目	ア ウェブページの制作とデザイン ウェブサイトを作成するための、企画を立案する手順と方法を学ぶ。また、ウェブサイトと比較し、デザインに関する技法について理解する。	○		
(第3次) 6～9 時間目	ウ 電子商取引と電子決済 ・自校の生徒に作成したウェブページを実際に使用してもらい、その使いやすさを評価してもらった結果を収集・分析し、改善を行う。 ・自校の生徒からのフィードバックを基に、改善計画書を作成し、ウェブページの改善を行う。		●	●
10～11 時間目	問い 売上データを分析するとともにサイトのレビューを分析し、ウェブページを改善することができるか。 ・前の時間までに改善したウェブページを他校の生徒に使用してもらった上で、その使いやすさを評価してもらい、結果を収集・分析し、改善を行う。この評価プロセスにより、改善が適切に実施されているかどうかを確認する。 ・ICT ツールを活用して商品の売上データを詳細に分析し、その結果を基にデジタル報告書を作成する。 ・ICT ツールを活用してサイトのレビューを詳細に分析し、よりよいウェブページにするための工夫や改善点を考察する。		●	○
(第4次) 15～20 時間目	エ ビジネスの創造 QC 7 つ道具を活用した新たなビジネスモデルを創造する。			

エ 学習指導案（10・11 時間目／20 時間目）

本時のねらいを踏まえ、電子商取引及び電子決済の仕組みとその重要性を理解し、実際にウェブページを改善・評価するプロセスを重視する必要がある。次は、学習指導の一部の流れを図式化している。



オ 学習の進め方や学習評価の工夫

本事例では、EC-CUBE を活用して作成したウェブサイト을自校生徒と他校生徒に利用させ、模擬取引を通じてその使いやすさを評価するアンケートを実施し、両者の意見を比較分析することで、ウェブサイトの更なる改善につなげる方法を考察する。

(ア) 個別学習

自校の生徒からのフィードバックを整理し、具体的な問題点や改善要求を明確に理解するために、Google スプレッドシートを活用して改善計画書を作成する。

「思考・判断・表現」の評価規準は、「企業活動の改善に対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいてインターネットを活用する方策を考案して実施し、評価・改善しようとしている」ことである。したがって、改善計画書のまとめから、改善要求を自ら考え、判断し、まとめられているかを見取ることとする。

「思考・判断・表現」の評価

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
思考・判断・表現	自校の生徒からのフィードバックをおおむね理解し、自ら作成した EC サイトの改善計画がまとめられている。	自校の生徒からのフィードバックを的確に理解し、自ら作成した EC サイトの改善計画を考察し、まとめられている。	自校の生徒からのフィードバックを理解しておらず、自ら作成した EC サイトの改善計画がまとめられていない。 【手立て】 改善計画書の良い例を積極的に取り上げ、個別指導を通して再考させる。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、「インターネットの活用について自ら学び、インターネットの活用による企業活動の改善に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。」である。したがって、デジタルホワイトボードを活用して改善計画書及び改善したウェブページについてクラスのメンバーと共有する過程において、「自らの学習を調整しようとする側面」の到達レベルを評価する。

(4) ペア学習

他校の生徒からのフィードバック（ウェブページ評価フォーム）を整理し、具体的な問題点や改善要求を明確に理解するために、Google スプレッドシートを活用して改善計画書（ワークシート1）を作成する。

【他校生徒からのフィードバックの一部】

1.Webページのデザインについて、どの程度満足していますか。* ☐ 4：非常に満足 ☐ 3：満足 ☒ 2：不満 ☐ 1：非常に不満 1-1.Webサイトのデザインを更に良くするためにどのような改善が必要ですか。* 明るくて見やすい色を使うと、ページがもっと楽しくなります。例えば、背景は白で、文字は黒や青などのはっきりした色にすると読みやすいです。	5.製品やサービスに関する情報は十分に理解できましたか。* ☐ 4：非常に理解できた ☐ 3：理解できた ☒ 2：理解できなかった ☐ 1：全く理解できなかった 5-1. 商品の説明を更に良くするためにどのような改善が必要ですか。* 長い説明が続いていて、どこが重要なポイントなのかがわかりにくかったです。箇条書きや見出しを作ってまとめてほしかったです。																																																																																																		
14.商品の写真は 見やすいものになっていましたか。* ☐ 4：とても見やすかった ☐ 3：見やすかった ☐ 2：少しわかりづらい ☒ 1：わかりづらい 14-1. 商品の写真を更に見やすくするためにどのような改善が必要だと思いますか。 一方向からの写真が多く、商品全体の形やデザインがわかりにくかったです。様々な角度からの写真があればよりよいものだと思います。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ワークシート1</td> <td></td> <td></td> <td>改善計画書</td> <td></td> <td>B評価の記入例</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td colspan="6">課題 他校の生徒からのフィードバックから現状の問題点を明確化しよう。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td colspan="6">Webサイトのデザインに関すること</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td colspan="6">・Webサイトの背景の色を見やすいように変更する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td colspan="6">・文字は黒や青などはっきりとした色にする。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td colspan="6">商品説明に関すること</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td colspan="6">・説明文がわかりにくい。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td colspan="6">商品の写真に関すること</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td colspan="6">・商品の全体の形やデザインが分かるように、</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td colspan="6">多方向からの写真を掲載する。</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	E	F	1	ワークシート1			改善計画書		B評価の記入例	2							3	課題 他校の生徒からのフィードバックから現状の問題点を明確化しよう。						4	Webサイトのデザインに関すること						5	・Webサイトの背景の色を見やすいように変更する。						6	・文字は黒や青などはっきりとした色にする。						7							8	商品説明に関すること						9	・説明文がわかりにくい。						10							11	商品の写真に関すること						12	・商品の全体の形やデザインが分かるように、						13	多方向からの写真を掲載する。					
	A	B	C	D	E	F																																																																																													
1	ワークシート1			改善計画書		B評価の記入例																																																																																													
2																																																																																																			
3	課題 他校の生徒からのフィードバックから現状の問題点を明確化しよう。																																																																																																		
4	Webサイトのデザインに関すること																																																																																																		
5	・Webサイトの背景の色を見やすいように変更する。																																																																																																		
6	・文字は黒や青などはっきりとした色にする。																																																																																																		
7																																																																																																			
8	商品説明に関すること																																																																																																		
9	・説明文がわかりにくい。																																																																																																		
10																																																																																																			
11	商品の写真に関すること																																																																																																		
12	・商品の全体の形やデザインが分かるように、																																																																																																		
13	多方向からの写真を掲載する。																																																																																																		

さらに、Google スプレッドシートを活用して商品の売上データ及びサイトのレビューを詳細に分析し、その結果を基に、デジタル報告書（ワークシート2）を作成し、より良いウェブページにするための工夫や改善点を考察する。ペア学習の相手に変更点やその意図を説明する際、建設的な意見が出た場合にはその意見を取り入れてウェブページを改良していく過程で、「粘り強い取組を行おうとする側面」の到達レベルを評価する。

「粘り強い取組を行おうとする側面」の評価

評価	到達レベル 2	到達レベル 3	到達レベル 1
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
粘り強い取組を行おうとする側面	ウェブページの改善点について、ペア学習の相手に変更点やその意図を明確に説明し、他人の意見を積極的に聞き入れて修正点に気が付き、粘り強く取組もうとしている。	ウェブページの改善点について、ペア学習の相手に変更点やその意図を明確に説明し、他人の意見を積極的に聞き入れて修正点に気が付き、それを効果的に反映するために粘り強く取組もうとしている。	ウェブページの改善点について、ペア学習の相手に変更点やその意図を明確に説明できず、他人の意見を積極的に聞き入れることができず、修正点への気が付きが不十分であり、粘り強く取組もうとする姿勢が見られない。 【手立て】 修正点に気付けるように助言を行う。

EC サイトとデジタル報告書をデジタルホワイトボードで共有し、特産品である玉ねぎが一番売れると予想していたが、実際には売上が最も悪いことに気付き、なぜ売上が低かったのかをペア学習の相手と考察させる。ペア学習の相手から、玉ねぎの画像が見づらかったのではないかとフィードバックを受け、ウェブページを改善しようとしているかを見取る。

【改善前のウェブページの一部】



玉ねぎ

¥660 税込

関連カテゴリ
玉ねぎ

数量 12

カートに入れる

お気に入り追加

豊かな風味と独特の甘みで知られている玉ねぎ。北海道の厳しい寒暖差が、玉ねぎに甘さを引き出し、さらにシャキシャキとした食感を生み出す。土壌の栄養が豊富で、時間をかけて丁寧に育てられているため、品質の高さが際立っている。料理に使用すれば、その甘みが際立ち、煮物や炒め物、サラダに最適です。オホーツクの大地が育てたこの逸品をぜひ一度お試しください。

玉ねぎの売上

加工チーズの売上

ハッカ餡の売上

玉ねぎが1個で¥660は高すぎるのではないかと価格設定を見直す必要があるのではないかと

【評価項目：粘り強く取り組む側面】

デジタルホワイトボードを活用してウェブサイトとデジタル報告書を共有し、受け取ったフィードバックから改善案を考察する。

【改善後のウェブページの一部】

○ おおむね満足できる（評価B）の記述例



玉ねぎ【5キロ】

¥660 税込

関連カテゴリ
玉ねぎ

数量 12

カートに入れる

お気に入り追加

豊かな風味と独特の甘みで知られている玉ねぎ。北海道の厳しい寒暖差が、玉ねぎに甘さを引き出し、さらにシャキシャキとした食感を生み出す。土壌の栄養が豊富で、時間をかけて丁寧に育てられているため、品質の高さが際立っている。料理に使用すれば、その甘みが際立ち、煮物や炒め物、サラダに最適です。オホーツクの大地が育てたこの逸品をぜひ一度お試しください。

到達レベルの考え方

自校の生徒から「玉ねぎの価格が分かりづらい」とのフィードバックを受け、価格表示の改善を行ったが、他校生徒からのフィードバックは反映されていない。自校と他校、両方のフィードバックを反映できていない部分もあるため、今回は自校生徒のフィードバックをもとに粘り強く改善を行っている点を評価し、到達レベル2と評価した。

○ 十分満足できる（評価A）の記述例



玉ねぎ【5キロ】

¥660 税込

関連カテゴリ
玉ねぎ

数量 12

カートに入れる

お気に入り追加

豊かな風味と独特の甘みで知られている玉ねぎ。北海道の厳しい寒暖差が、玉ねぎに甘さを引き出し、さらにシャキシャキとした食感を生み出す。土壌の栄養が豊富で、時間をかけて丁寧に育てられているため、品質の高さが際立っている。料理に使用すれば、その甘みが際立ち、煮物や炒め物、サラダに最適です。オホーツクの大地が育てたこの逸品をぜひ一度お試しください。

- ・オホーツク産の玉ねぎは、豊かな風味と独特の甘みがある。
- ・北海道の厳しい寒暖差が、玉ねぎに甘さを引き出しシャキシャキとした食感を生み出す。
- ・オホーツク産の玉ねぎは、土壌の栄養が豊富で、時間をかけて丁寧に育てられている。
- ・料理に使用すれば、甘みが際立つ。
- ・かき揚げなどに使用するのもおすすめ！

到達レベルの考え方

他校の生徒から「説明文が分かりづらい」とのフィードバックを受け、説明文を箇条書きにすることで視認性を向上させる改善を行った。また、自校の生徒から「玉ねぎの写真が1枚しか記載されていない」との指摘があり、それが売上低迷の一因であることに気付き、新たな複数の写真を追加し、玉ねぎの魅力をより効果的にPRできるウェブページに改善されている。このように、粘り強く改善に取り組んでいることから、到達レベル3と評価した。

生徒実習システムは、道立高校のコンピュータから「ほっかいどうスクールネット」の回線を介して道立教育研究所に設置された実習装置へアクセスし、様々な実習メニューを利用するシステムである。今回の事例では、他校の生徒とのやり取りを取り上げたが、クラス内の生徒間や隣のクラスの生徒ともウェブサイトと共有することが可能である。

< 生徒実習システムの URL >

<https://sites.google.com/hokkaido-c.ed.jp/students-practicalskill-system/home>

